

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公開番号】特開2019-64749(P2019-64749A)

【公開日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-016

【出願番号】特願2017-188565(P2017-188565)

【国際特許分類】

B 6 5 H	29/60	(2006.01)
B 6 5 H	31/00	(2006.01)
B 6 5 H	31/26	(2006.01)
B 6 5 H	7/02	(2006.01)
B 6 5 H	85/00	(2006.01)
B 6 5 H	29/52	(2006.01)
B 6 5 H	29/58	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)

【F I】

B 6 5 H	29/60	D
B 6 5 H	31/00	B
B 6 5 H	31/26	
B 6 5 H	7/02	
B 6 5 H	29/60	A
B 6 5 H	85/00	
B 6 5 H	29/52	
B 6 5 H	29/58	B
B 4 1 J	2/01	3 0 5
B 4 1 J	2/01	4 5 1
B 4 1 J	2/01	4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月21日(2020.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体に処理を行う処理部を備える筐体と、

前記処理部で処理された媒体の第1面を上にして排出する為の第1搬送経路と、

前記処理部で処理された前記媒体の第1面を下にして排出する為の第2搬送経路と、

前記筐体の内部に設けられ、前記第1搬送経路から排出される前記媒体を受ける媒体受け状態と、前記媒体受け状態から状態切り換えされて成る非媒体受け状態と、を切り換える可能な媒体受けトレイと、を備え、

前記媒体受けトレイが前記非媒体受け状態にある際に、前記第1搬送経路が非形成状態になるとともに前記媒体受けトレイの少なくとも一部が前記第2搬送経路を形成し、前記媒体受けトレイが前記媒体受け状態にある際に、前記第2搬送経路が非形成状態になるとともに前記第1搬送経路が形成される、

ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の媒体搬送装置において、前記媒体受けトレイは、回動することにより前記非媒体受け状態と前記媒体受け状態とを切り換える、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の媒体搬送装置において、前記媒体受けトレイは、前記第 1 搬送経路を経由して排出される前記媒体を受ける媒体受け面を延長する延長トレイを少なくとも一つ備える、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の媒体搬送装置において、前記筐体の側面に、開閉可能なカバーを備え、前記カバーを開くことにより、前記媒体受けトレイ、及び、前記第 2 搬送経路において前記媒体を湾曲反転させる区間の少なくとも一部が露呈する、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の媒体搬送装置において、前記媒体を収容する媒体収容部を備え、前記カバーを開くことにより、該媒体収容部が露呈する、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載の媒体搬送装置において、前記カバーには、当該カバーが閉じた状態で前記媒体受けトレイを支持して前記媒体受けトレイの前記非媒体受け状態を維持し、前記カバーが開いた状態から閉じる際に前記媒体受け状態にある前記媒体受けトレイを押し上げて前記非媒体受け状態に切り換えるトレイ係合部が設けられている、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 7】

請求項 4 から請求項 6 のいずれか一項に記載の媒体搬送装置において、前記カバーの開閉状態を検出するカバー状態検出手段を備える、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 8】

媒体に処理を行う処理部を備える筐体と、前記処理部で処理された前記媒体を排出する為の第 1 搬送経路と、前記処理部で処理された前記媒体を排出する為の第 2 搬送経路と、前記第 1 搬送経路を経由して排出される前記媒体を受ける媒体受け状態と、前記媒体受け状態から状態切り換えされて成る非媒体受け状態と、を切り換え可能な媒体受けトレイと、を備え、

前記媒体受けトレイが前記非媒体受け状態にある際に、前記第 1 搬送経路が非形成状態になるとともに前記媒体受けトレイの少なくとも一部が前記第 2 搬送経路を形成し、前記媒体受けトレイが前記媒体受け状態にある際に、前記第 2 搬送経路が非形成状態になるとともに前記第 1 搬送経路が形成され、

前記媒体受けトレイは、スライドすることにより前記非媒体受け状態と前記媒体受け状態とを切り換える、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の媒体搬送装置において、前記媒体受けトレイの下流側には、前記媒体受けトレイにおいて前記媒体を支持する支持面から突出する凸部が設けられ、

前記媒体受けトレイが前記非媒体受け状態にある際に、前記凸部が、前記第 2 搬送経路を形成する、

ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 10】

処理部で処理された媒体を排出する為の第1搬送経路と、
前記処理部で処理された媒体を排出する為の第2搬送経路と、

前記第1搬送経路を経由して排出される前記媒体を受ける媒体受け状態と、前記媒体受け状態から状態切り換えされて成る非媒体受け状態と、を切り換え可能な媒体受けトレイと、

前記第2搬送経路を形成するとともに前記第1搬送経路を非形成状態とする第1状態と、前記第1搬送経路を形成するとともに前記第2搬送経路を非形成状態とする第2状態と、を切り換え可能な経路形成部材と、を備え、

前記経路形成部材は、前記媒体受けトレイが前記非媒体受け状態にある際に、当該媒体受けトレイにより支持されて前記第1状態をとり、前記媒体受けトレイが前記媒体受け状態にある際に、前記媒体受けトレイによる支持が解除されて前記第2状態をとる、ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項11】

請求項1から請求項10のいずれか一項に記載の媒体搬送装置において、前記媒体受けトレイの状態を検出するトレイ状態検出手段を備える、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項12】

媒体に記録を行う、前記処理部としての記録部と、
請求項1から請求項11のいずれか一項に記載の前記媒体搬送装置と、
を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項13】

請求項12に記載の記録装置において、前記第1搬送経路は、前記処理部で処理された前記媒体を前記処理部から湾曲反転させずに前記筐体の外側に排出する搬送経路であり、

前記第2搬送経路は、前記処理部で処理された前記媒体を湾曲反転させて前記筐体の外側に排出する搬送経路である、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項14】

請求項13に記載の記録装置において、前記記録部は、液体を吐出することにより前記媒体に記録を行う液体吐出ヘッドを備え、

前記筐体の側面の一つである前面に、前記液体吐出ヘッドから吐出する前記液体を収容する液体収容部を備え、

前記液体収容部と、前記第2搬送経路において前記媒体を前記湾曲反転させる区間とが、装置奥行き方向で少なくとも一部が重なる、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項15】

請求項14に記載の記録装置において、前記媒体を収容する媒体収容部から給送された前記媒体を反転させて前記記録部に搬送し、或いは前記記録部により記録が行われてバックフィードされる前記媒体を反転させて再び前記記録部に搬送する媒体反転部を備え、

前記媒体反転部は、前記筐体の側面の一つである、前記前面に対し反対側の背面寄りに設けられている、
ことを特徴とする記録装置。